

一般財団
法人

鹿児島陸上競技協会通信 『恒星』

第28号

TEL 099-259-6053/FAX 099-299-6054 E-mail: kariku@po2.synapse.ne.jp

2018.9.21

福井しあわせ元気国体2018 本県代表選手決定！

10月5日から9日まで 福井県営で開催

平成30年度の第73回国民体育大会は、9月29日から福井県を中心に開催されます。陸上競技は、10月5日から9日までの5日間にわたり、福井市で行われます。

その大会に出場する本県の代表選手の選考会を8月12日に行いました。参加条件や制限等を確認し、本県の代表選手を29人とするのを決めた後、選考のねらいや選考基準等について強化部の提案を協議しました。

こうした手続きを経て、標準記録を突破した選手や入賞が期待できる選手、全国ランキング・将来性等を総合的に勘案して男子16人、女子13人を選出しました。

福井国体では、個人3位以内、4～8位入賞共に5個の目標を定め、総合得点50点をめざし、また、2020年の鹿児島国体も視野に入れた陣容になっています。ちなみに、前回の愛媛国体では7種目で入賞を果たし、総合得点45.5点、天皇杯27位の成績でした。

今回の本県選手団は、アジア競技大会で女子5000mに出場し、6位に入賞した京セラの山ノ内みなみ選手をはじめ、ふるさと選手6人を加えています。

8月の全国高校総体で2位に入賞した神村学園高校のカマウタビタジュリ選手や鹿児島女子高校の山元祐季選手たちの活躍が期待されます。

これまで熱心に指導にあたってこられた関係各位の御尽力を労い、各選手の健闘を心から念じています。2020年の「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま」に向けて弾みとなる、昨年の愛媛国体を上回る成績となるよう念じています。

男子監督は強化部の河野優一副部長、女子監督は新開浩一部長が務めます。

代表選手は下記のとおりです。

【男子】

(成年)

100m	(F) 白石 黄良々 (大東文化大4年)
4×100mR	(F) 橋元 晃志 (富士通)
110mH	(F) 前田 紘毅 (立命館大4年)
走高跳	(F) 上別府 剛志 (九州共立大4年)
三段跳	(F) 竹之内 優汰 (順天堂大2年)
やり投	(F) 松谷 昂星 (鹿児島銀行)

(少年A)

100m	龍河 ミライ (鹿児島南高3年)
400m	野成 也 (鹿児島南高3年)
走幅跳	廣教 敦也 (鹿児島南高3年)
やり投	大久保 紀 (鹿児島南高3年)
ハンマー投	杉山 優馬 (鹿児島南高3年)

(少年B)

100m	堀之内 陽なた (西陵中3年)
3000m	徳丸 寛太 (鹿児島実業高1年)

(少年共通)

走高跳	佐田 征義 (鹿児島南高3年)
三段跳	松下 悠太郎 (鹿児島南高3年)
砲丸投	有村 慎太郎 (加治木工業高1年)

【女子】

(成年)

5000m	山ノ内 みなみ (京セラ)
棒高跳	(F) 青柳 唯 (鹿児島相互信用金庫)
円盤投	(F) 池平 遥香 (九州共立大4年)

(少年A)

100m	田畑 帆乃香 (松陽高2年)
3000m	カマウタビタ (神村学園高3年)
走幅跳	松澤 季夏 (鹿児島高2年)

(少年B)

1500m	黒川 円佳 (神村学園高1年)
100mH	田之頭 あかり (穎娃中3年)
走幅跳	竹元 咲 (鹿児島高1年)

(少年共通)

100m	寺地 し い (出水中3年)
800m	森山下 七海 (城西中3年)
三段跳	山元 永莉子 (鹿児島高3年)
やり投	山下 祐季 (鹿児島女子高3年)

注) 白石黄良々をはじめ(F)のついた6選手は、ふるさと選手制度を活用して本県から出場します。

第73回

県陸上競技選手権大会開催

白石黄良々(大東文化大)3年連続2種目制覇 玉川杯は白石黄良々 青柳唯(鹿児島相互信用金庫)

第73回鹿児島県陸上競技選手権大会は、7月6日から9日まで3日間にわたり薩摩川内市総合運動公園陸上競技場で開催されました。昨年とは打って変わり、西日本を中心に豪雨災害が発生するなどの悪天候の中で行われました。

最終日は総雨量が400ミリを超え、厳しい状況下での運営となり、功労賞贈与式は中止しました。晴れの舞台を飾れなかった皆さんにお詫びを申し上げます。

また、大雨の中で健闘した選手を称えますとともに、競技運営にあたっていただきました競技役員や補助員の皆さんには改めて心からのねぎらいと感謝の意を表します。ほんとうにありがとうございます。

今大会での新記録は、男子200mで大東文化大学の白石黄良々が21秒09、女子棒高跳において鹿児島相互信用金庫の青柳唯が3m80の大会新のみに終わり、やや寂しい結果でした。各選手悪天候には勝てなかったようです。

最も活躍した選手に贈られる玉川杯は、3年連続で100mと200mの短距離2種目を制した白石黄良々と青柳唯が受賞しました。今後のますますの飛躍を期待します。

今年度の各種目の選手権者及び記録は次のとおりです。

【男子】

100m	10"52	白石黄良々(大東文化大)
200m	21"09	白石黄良々(大東文化大)
400m	48"34	橋元優成(明治大)
800m	1'53"54	大津屋省吾(鹿児島大)
1500m	3'58"99	河口竜也(志学館大)
5000m	14'49"68	永谷勇介(京セラ鹿児島)
10000m	30'21"72	中村高洋(京セラ鹿児島)
110mH	14"88	岩切亨生(環太平洋大)
400mH	53"41	有田英憲(順天堂大)
3000mSC	9'28"25	藤崎真伍(流通経済大)
5000mW	22'34"18	福留裕介(鹿児島工業高)
4×100mR	41"51	鹿児島南高
4×400mR	3'15"27	鹿児島南高
走高跳	2m10	上別府剛志(九州共立大)
棒高跳	4m60	光隼平(九州共立大)
走幅跳	7m42	松田敬佑(環太平洋大)
三段跳	15m28	竹之内優汰(順天堂大)
砲丸投	11m80	当浜和都(鹿児島陸協)
円盤投	42m50	桑代啓太(福笑門)
ハンマー投	40m28	鎌田岳人(加治木工業高)
やり投	65m20	佐藤賢太(京セラ鹿児島)
十種競技	6336点	安栖遼太郎(国際武道大)

【女子】

100m	12"58	鶴田玲美(大東文化大)
200m	25"44	鶴田玲美(大東文化大)
400m	57"39	高木祐奈(九州共立大)
800m	2'14"69	黒川円佳(神村学園高)
1500m	4'21"46	カマウタビタ(神村学園高)
5000m	16'35"20	尾方星華(樟南高)
10000m	34'31"07	古瀬麻美(京セラ)
100mH	14"35	大村美香(南国殖産)
400mH	1'04"14	富永莉沙(鹿児島高)
3000mSC	12'05"96	西佳苗(鹿児島大)
5000mW	24'53"94	横山ひろり(国士舘大)
4×100mR	48"50	環太平洋大
4×400mR	3'57"99	鹿児島高
走高跳	1m68	鐵丸美由紀(園田学園女大)
棒高跳	3m80(大会新)	青柳唯(鹿児島相互信用金庫)
走幅跳	5m84	内之倉由美(早稲田大)
三段跳	12m02	川島杏純(日本女子体育大)
砲丸投	11m05	東きよら(志学館大)
円盤投	43m10	池平遥香(九州共立大)
ハンマー投	42m88	平愛梨(川内高)
やり投	42m70	川路怜奈(KAC)
七種競技	3762点	四元真夢(松陽高)

全国インターハイ(東海総体)

カマウジュリ(神村学園)2種目入賞

佐田征義(鹿南高) 山元祐季(鹿女高) 2位

平成30年度全国高校総合体育大会秩父宮賜杯第71回全国高等学校陸上競技対校選手権大会は、8月2日から8月6日まで5日間にわたって三重県伊勢市の三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場で行われました。

南九州大会を勝ち抜いて本選に駒を進めた本県の精鋭たちは、男女合わせて32種目で49人、延べ60人、リレー4種目に8チームが檜舞台に立ちました。

全国的に猛暑となった今大会。厳しい戦いが繰り広げられ、2位に3人、3位と8位に各1人入賞を果たしました。神村学園高校のカマウジュリが、女子1500mで4分17秒30で走り2位に入賞。3000mでも8分57秒13のタイムで3位入賞と大活躍でした。

また、鹿児島南高校の佐田征義が、男子八種競技の最終種目で驚異の粘りを発揮して、5780点の記録で堂々の2位入賞を果たしました。

さらに、鹿児島女子高校の山元祐季も女子やり投において49m12に投てきで2位に輝きました。最後の投てきに逆転の望みを託しましたが、右に逸れてファウルとなり優勝を逃しました。

神村学園高校の平田歩弓は女子1500mで4分20秒72のタイムで8位入賞を飾りました。

全国総体で活躍した選手は、10月に福井国体が控えています。全国インターハイでの経験をバネにしてさらなる挑戦をしてくれるものと楽しみにしています。

全国中学校大会

須山向陽(田崎中) 3000mで4位

平成30年度全国中学校体育大会第45回全日本中学校陸上競技選手権大会は、8月19日から21日まで3日間にわたり、岡山県の総合グラウンド陸上競技場(シティライオスタジアム)で行われました。

本県から標準記録を突破した選手男女延べ14人の選手が11種目と、男女リレーに出場しました。

男子3000mにおいて、田崎中学校の須山向陽が8分37秒15のタイムで4位に入り、出水中学校の石岡大侑が8分39秒47の記録で8位に入賞を遂げました。

選手の皆さんの健闘を称えます。

全国小学生陸上競技交流大会

川上鼓太郎(太陽SC忍者)100mで2位入賞

第34回全国小学生陸上競技交流大会は8月18日に横浜の日産スタジアムで行われ、本県からリレーを含め男女合わせて21人が出場しました。

太陽SC忍者クラブの川上鼓太郎が男子6年100mで12秒32で走り、2位に入賞しました。

また、友好女子100mにおいて、国分Jr陸上クラブの濱田彩華が14秒61のタイムで8位に入りました。

第72回県民体育大会陸上競技大会

男子 鹿児島 女子 出水 優勝! 大会新4

第72回県民体育大会陸上競技大会は、9月15日に鴨池補助競技場において12地区対抗で行われました。

好天に恵まれて、4つの種目で大会新記録が生まれ、総合成績の男子優勝は鹿児島地区、女子は出水地区が栄冠を手に入れました。

大会新記録と総合成績は以下のとおりです。

【大会新記録】			
男子40歳代100m	11"62	内田大介	(鹿児島)
男子少年400m	48"35	佐藤恵斗	(伊佐)
男子少年砲丸投	13m89	浦口凱	(鹿児島)
女子共通4×100mR	48"05	始良	

【地区対抗成績】			
(順位)	(男 子)	(女 子)	(男 子)
1位	鹿児島 84点	出川水 44点	
2位	出川水 67点	鹿児島 38点	
3位	始良 67点	始良 35点	
4位	始良 66点	始良 34点	
5位	熊毛 62点	肝大 27点	
6位	熊毛 62点	肝大 24点	
7位	肝大 54点	熊毛 23点	
8位	肝大 52点	熊毛 23点	
9位	伊佐 38点	曾於 17点	
10位	伊佐 36点	指宿 14点	
11位	曾於 33点	伊日 7点	
12位	指宿 22点	指宿 7点	
	指宿 9点	指宿 4点	

(注) 同点の順位差は、上位種目数による。

第18回アジア競技大会

京セラ 山ノ内みなみ 女子5000m 6位入賞

8月28日にインドネシアのジャカルタで開催された、第18回アジア競技大会陸上競技大会女子5000mにおいて、京セラの山ノ内みなみが6位入賞を果たしました。記録は15分52秒48。

山ノ内選手は福島県出身で、佐藤敦之監督の指導を求め、昨年8月に京セラに入社しました。けがや故障等の苦しい時期を乗り越えて、今シーズンに入ってから調子が上向き、4月21日開催の第2回県記録会で15分34秒39の好記録で鹿児島デビューを飾りました。

1週後の28日の日本グランプリシリーズ織田記念国際陸上競技大会で、15分21秒31まで短縮。日本陸上競技選手権大会で4位入り、アジア大会の出場権をつかみました。トレイルランで鍛えた安定感のある走りや粘りで、県記録の更新、今後の飛躍が楽しみです。

鹿児島マラソン2019

募集開始 フルマラソン 10,000人
ファンラン 2,500人

8月27日に鹿児島市のデパートの広場で、第4回となる鹿児島マラソン2019のエントリー開始イベントが行われ、即日募集が始まりました。

イベントは、鹿児島YMCAチアダンススクールによるパフォーマンスに始まり、オフィシャルアドバイザーの千葉真子さんとアンバサダーを務めるバレーボールの元オリピック選手迫田さおりさんのトークショーや抽選会等がありました。

募集期限はインターネットによる申込が10月1日(月)17時までに、ゆうちょ銀行及び郵便局の専用振替払込申込でのエントリーは、9月28日(金)当日消印有効となっています。

募集定員は前回と同様で、フルマラソンの部は10,000人、8.9kmのファンランの部は2,500人となっています。

参加申込料は、マラソン1万円、ファンラン3千円です。応募者多数の場合は、抽選となります。また、3万円以上のふるさと納税をしたら出場できる特別枠や鹿児島市居住者には先着2,500人の「鹿児島市民枠」もあります。詳細は鹿児島マラソンのHPをご覧ください。

大会事務局の発表では、マラソンの部は9月18日現在で、定員の10,000人を越えたそうです。

東京マラソン(RUN as ONE)及びMCCと提携

鹿児島マラソンは第2回大会から東京マラソンのRUN as ONE - Tokyo Marathonと提携しています。男子2時間55分以内、女子3時間40分以内という推薦基準タイムをクリアしたら、平成32年の東京マラソンへの出場権が与えられます。

また、鹿児島マラソンは前回大会から、多くのランナーたちが愛読している月刊誌「ランニング」の関連会社アールピーススポーツ財団が設けたプロジェクト、「マラソンチャレンジカップ」対象の大会に指定されています。

前回大会で女子マラソンの部において大会新記録で優勝した京セラの床谷沙紀選手が初の受賞に輝きました。

平成31年3月3日(日)午前8時30分号砲

大会成功を期して 競技運営に御協力を!

前々回の大会は、スタート直後から冷たい雨が降り出し、前回大会は気温が20度を越す中でのレースとなるなど、厳しい状況の下でのレースとなりましたが、90%近い完走率を記録しています。

また、インターネットランニングサイトの「全国ランニング大会100選」にも入っています。

これらはひとえに運営にあたっていただきました競技役員や補助員、ボランティアの方々の誠実な御尽力の賜物であり、とても嬉しくありがたく存じます。改めて心から感謝を申し上げます。

近日中に2019大会の競技役員への依頼をいたします。前回大会を始め、これまでの運営にあたっていただきました皆さまの御理解と御支援御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年NHK大河ドラマ

「いだてん~東京オリムピック騒~」

明治維新150周年にあたる本年のNHKの大河ドラマは、鹿児島県のヒーロー西郷隆盛をテーマにした「西郷どん」が放送されて、いよいよ佳境を迎えています。

来年の大河ドラマは、熊本県の玉名市名誉市民になっている金栗四三を主人公にした物語が放映されます。金栗氏は、日本人初のオリンピック選手で、箱根駅伝の創設に尽力するなどして、「日本マラソンの父」といわれ、日本マラソン界の発展に大きな足跡を残しています。

この放送を機に、さらにランニング愛や陸上競技愛が高まることを願っています。